

指定管理者施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート(平成27年度事業分)

1 施設の概要

施設名	山梨県立八ヶ岳牧場	所管課	農政部 畜産課
所在地	本場:北杜市小淵沢町大平10061 天女山分場:北杜市大泉町西井出8240-1	設置年月日 (改築年月日等)	昭和43年4月1日
指定管理者	公益財団法人山梨県子牛育成協会		
設置根拠 (法律、条例等)	山梨県立八ヶ岳牧場の設置及び管理に関する条例		
設置目的	農家家畜を受託放牧するとともに、県有牛を改良増殖し繁殖牛・肥育素牛を供給し、もって本県の畜産振興に資することを目的とする。		
主な施設内容 (定員等)	<ul style="list-style-type: none"> ○敷地面積 約583ha ○建物延面積6, 202. 67㎡ ○建物の構造 RC、鉄骨造 ○建物の概要 <ul style="list-style-type: none"> ・八ヶ岳牧場看視舎 RC 250㎡ ・避難舎 鉄骨造 918㎡ ・分娩・衛生舎棟 389. 67㎡ ・畜舎 鉄骨造 772. 80㎡ ・育成牛舎 鉄骨造 581㎡ ・家畜排泄物処理施設 鉄骨造 1, 811. 2㎡ ・育成牛舎 鉄骨造 1, 080㎡ ・飼料庫 400㎡ ○その他施設 草地:331ha(採草地77ha、放牧地254ha) 		
主な業務内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 利用の承認に関する業務 2. 施設及び設備器具の維持保全に関する業務 3. 家畜の飼養管理及び改良増殖に関する業務 4. 牧草の栽培に関する業務 5. 家畜排せつ物のたい肥化に関する業務 		

2 類似施設・近隣施設

名称 施設内容 利用状況等	なし
---------------------	----

3 利用状況

単位：人、%

		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度 (目標値)
利用者数	受託頭数	121,711	125,948	125,735	
	利用者数合計	121,711	125,948	125,735	
	目標値	110,000	110,000	110,000	120,000
	目標値設定の考え方及びその理由	過去5年間の平均受託頭数で設定			
	対25年度比	-	103.5%	103.3%	98.6%
利用率		333 頭/日	345 頭/日	344 頭/日	329 頭/日

4 指定管理業務の収支状況

単位：円、%

		平成26年度	平成27年度 (計画値)	平成27年度 (実績値)	平成28年度 (計画値)
収入	施設利用料	46,797,920	41,792,000	47,850,970	44,815,000
	指定管理者委託料	199,140,000	194,575,000	194,575,000	190,186,000
	その他	0	0	0	0
	収入合計(A)	245,937,920	236,367,000	242,425,970	235,001,000
支出	人件費	143,562,227	145,132,000	137,631,170	138,734,000
	県への納付金	0	0	0	0
	管理運営費	97,046,953	91,235,000	90,972,417	96,267,000
	うち外部委託費(B)	2,249,003	1,994,000	2,023,720	2,434,000
支出合計(C)		240,609,180	236,367,000	228,603,587	235,001,000
収支差額(A-C)		5,328,740	0	13,822,383	0
外部委託比率(B÷C)		0.9%	0.8%	0.9%	1.0%
利用者一人当たりの経費		1,581.1	1,768.9	1,547.5	1,584.9

5 利用者満足度

実施方法等	実施時期:平成28年1月～3月 実施方法:平成27年度の預託利用者および売却牛と堆肥の購入者へのアンケート(聞き取り調査) 回答数:72人
-------	---

単位:%

調査項目	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満
家畜の受託に対する満足度	92.5%	6.4%	1.2%	0.0%
県有家畜の売却に対する満足度	79.7%	15.6%	1.6%	3.1%
たい肥の売却に対する満足度	80.3%	18.3%	1.4%	0.0%
ハヶ岳牧場の事業に対する満足度	83.6%	10.8%	5.2%	0.4%
施設全般の満足度	86.4%	13.6%	0.0%	0.0%

利用者の意見	<ul style="list-style-type: none"> ○預託 <ul style="list-style-type: none"> ・育成牛を牧場で預かってもらえて助かる、また放牧主体のため、足腰が丈夫になる等退牧後もメリットが大きい。 ・希望頭数が預託できないので、施設整備により受け入れ頭数を増やして欲しい。 ○売却牛 <ul style="list-style-type: none"> ・売却牛は枝肉成績が良く、事故無く良好である。 ・もっと売却頭数を増やして欲しい。 ○堆肥 <ul style="list-style-type: none"> ・嫌な臭いもなく、軽くて扱いやすい。 ・軽トラでの小口販売は便利で良い。 ・配達も時間・場所等融通が利いて助かる。
利用者の意見への対応	<ul style="list-style-type: none"> ○預託 <ul style="list-style-type: none"> ・受託家畜を健康に育成すべく日常の飼養管理に取り組んでいる。今後も良質な牧草を生産し受託家畜の発育向上に努めていく。 ・預託頭数については、現状施設を活用し若干の増頭はしているが希望には応え切れていない状況である。 ・施設整備に取り組む等して、預託頭数の増加を検討していく。 ○売却牛 <ul style="list-style-type: none"> ・血統と育種価を重視し、受精卵移植技術を活用しながら、より一層の県有牛の改良を進めると共に、良質粗飼料の給与や飼養管理技術の向上により、全体のレベルアップを図っていく。 ・交配計画上不要となった牛を売却するなど、売却頭数を増やすことに取り組んでいく。 ○堆肥 <ul style="list-style-type: none"> ・継続利用者が多く、品質の評判も良く、利用が定着化している。今後もより品質の高い堆肥の安定生産に努めていく。

6 評価結果

	指定管理者の自己評価	施設所管課の評価
維持管理業務	<ul style="list-style-type: none"> 施設、備品等の保全管理を適切に実施するよう努めた。 車両、農機具が、経年劣化による故障の恐れがあるため、今後計画的な更新が必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き適切な保全管理に努めること。 老朽施設、備品等の更新などについて今後検討していきたい。
運営業務	<ul style="list-style-type: none"> 家畜の受託延べ頭数は目標を上回り、前年とほぼ同等の実績となった。 優良種雄牛の交配に努め、生産子牛を目標以上に供給した。 簡易的草地更新に取り組むなどした結果、貯蔵粗飼料の生産数は前年実績を上回った。 品質の高い堆肥生産に努め、計画量を上回り、販売した。 	<ul style="list-style-type: none"> 農家戸数が減少傾向のなかで、受託頭数が目標を達成したことは大変評価できる。引き続き、利用頭数の確保に努めること。 目標以上に生産子牛を供給できたことは大変評価出来る。今後も県有牛の適切な管理に努め、生産子牛頭数を確保すること。 貯蔵粗飼料生産数が前年実績を上回ったことは高く評価できる。引き続き、適切な管理に努めること。 堆肥販売量が計画を上回ったことは高く評価できる。今後も堆肥の安定生産に努めること。
利用状況	<ul style="list-style-type: none"> 新規利用の開拓や積極的な入牧の受入等により、受託頭数は目標を上回った。 	<ul style="list-style-type: none"> 継続的な努力により、受託頭数が目標を上回ったことは大変評価できる。引き続き、積極的なPR活動を行い、安定的に受託家畜頭数の目標を達成できるよう努めること。
収支状況	<ul style="list-style-type: none"> 利用料金収入は計画を上回ることができた。 原材料費は国の試験に協力し、得られた新技術を活用することにより、施肥量、肥料単価を削減することが出来た。 	<ul style="list-style-type: none"> 利用料金収入が計画を上回ったことは高く評価できる。 肥料の見直し等により原材料費が計画より下回ったことは高く評価できる。 今後も引き続き、経費の削減に努めること。
自主事業		
利用者満足度	<ul style="list-style-type: none"> 牧場利用者の全ての人が、「満足」、「どちらかといえば満足」と回答しており、満足度は非常に高い。 預託受入頭数の拡大や売却頭数増頭の要望が毎年あげられている。 	<ul style="list-style-type: none"> 利用者のほとんどから高い満足度が得られている。 預託頭数の増加、売却頭数の増加等の要望については今後検討していきたい。

<p>運営目標の達成状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・家畜の年間受託延べ頭数は、125,735頭で、目標である110,000頭を上回り、達成率は114.3%である。 ・生産子牛の供給頭数は156頭で、目標である130頭を上回り、達成率は120%である。
<p>施設所管課による総合的な評価及び指導事項</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・各種業務は適切に実施されており評価できる。 ・引き続き、家畜の年間受託延べ頭数を確保するよう努めること。 ・利用者の要望に応えながら、家畜受託、売却子牛生産、堆肥生産等に努めること。
<p>施設所管課の指導事項に対する指定管理者の対応状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・引続き各業務を適切に行う。 ・夏期利用を増頭することにより、利用頭数の確保に努める。 ・性判別精液や受精卵移植の活用等、繁殖に対するサービスの充実とともに、県有牛の改良や飼養管理技術の向上に努める。

7 管理体制(組織図)

平成27年4月1日現在

